

令和5年第4回（9月招集）袖ヶ浦市議会定例会

市政に関する一般質問通告者一覧表

11名 23件

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
1	17番 吉岡 淳一議員	1 温暖化対策について	(1) 第2期君津地域広域廃棄物処理事業の進捗状況を問う。建設着工時期、供用開始時期、プラント仕様に変更はないか。
			(2) BOO方式の現在の計画ではコークスを主燃料とするシャフト炉式ガス化熔融を採用するが、供用後において協議会の提言によりCO2排出の少ない燃料に変更できる互換可能な設備となっているか。
			(3) 廃棄物発電等、ごみを資源として積極的に再利用していく考えを検討しているか。
			(4) 本市と東京ガス他との間で締結された「カーボンニュートラルの実現に向けた包括連携協定」について、導入予定の「カーボンニュートラル都市ガス」の構成成分は何か。
			(5) 「エネルギーの地産・地消」をどう進めるか、具体策を問う。
2	3番 木村 淑子議員	2 AI（人工知能）について	(1) ChatGPT活用にあたって、庁内ルール作りはできているか。場合によっては条例化も必要と考えるが、その予定はあるか。
			(2) 教育現場での活用の予定はあるか。学校でのいじめ防止、早期発見に活用する等の検討をしないか。
2	3番 木村 淑子議員	1 袖ヶ浦市の平和事業について	(1) 戦争の悲惨さや平和の尊さを考える等の平和に関する事業について、現状を伺います。
			(2) 子どもの頃から平和について考える機会を持つことは大切です。広島・長崎平和式典へ、中高生等の代表を派遣している自治体もあります。本市での学校における平和教育の取組について伺います。
		2 道路・交通環境の改善について	(1) 旧花川橋交差点の信号機が、現在の形態になって3年経過します。今も多くの市民から従来の信号機に戻してほしいとの要望があります。本市の対応を伺います。

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(2) 県道袖ヶ浦姉崎停車場線の今井付近から長浦駅前の法面について、常に歩道が雑草や木に覆われて危険であること、法面から水が浸み出し土砂災害の可能性があることなど、市民から改善してほしいとの声が上がっています。 県道であり、法面は個人の所有地も多いですが、本市としての対応、対策について伺います。</p> <p>(3) 令和元年の豪雨災害での冠水箇所は17か所とのことですが、冠水しやすい道路の現状と対策について伺います。</p> <p>(4) 千葉県内で試行運用中のLINEによる道路異状の通報アプリについて、現状を伺います。</p>
3	15番 緒方 妙子議員	<p>1 マイナンバーカードの不安払拭対応と活用について</p> <p>2 空家の管理について</p>	<p>(1) トラブルが相次ぐ中、再発防止に向けてデータやシステムの総点検が行われているが、現在の状況について伺います。</p> <p>(2) 新たな誤り事案等が生じないようにするための取組、人為的ミスを防ぐための取組はどのように行われているかを伺います。</p> <p>(3) 今後も必要とされるマイナンバーカードですが、不安などから自主返納するケースもあるとのこと。市として独自の利活用などを検討しないか伺います。</p> <p>(1) 空家特措法の改正により、管理の良くない、状況が改善されない「管理不全空家」や著しく危険な「特定空家」に対して固定資産税の優遇措置を解除する対策が取られるが、対象は市内にどのくらいあり、今後の対応について伺います。</p> <p>(2) 特定空家や管理不全となる前の取組が必要と考えるが、空家等の所有者に対しての現在の取組と状況について伺います。また所有者へのアンケートや意向調査などを行い、解決に向けていくことが必要と感じますが、本市としての取組を伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(3) 空家問題を解決するべくつくられた空家バンクですが、全国的に空家バンクシステムは登録件数が少ない・増えないことが課題となっているようです。本市においても改善が必要と感じるが考えを伺います。また、空家の利活用促進にリフォーム工事の一部を助成する自治体もあるが、本市の考えを伺います。</p>
			<p>(4) アンケート調査や「住まいの終活」などの出前講座などでの周知により、空家になる前の取組を行う自治体もあるが本市の考えを伺います。</p>
		<p>3 共生社会を推進する「認知症基本法」について</p>	<p>(1) 認知症の人とその家族が安心して暮らせる環境整備が急務です。今回、認知症基本法の成立により各自治体での計画策定は努力義務となっていますが、計画策定には認知症の方、ご家族の方などの意見を聞く体制の構築が不可欠であるとともに社会参加の確保などによる企業の理解や協力も必要となりますが、本市としての取組を伺います。</p>
			<p>(2) この計画の策定は地域の実情に即した具体的な取組であることが重要です。本市においてはどのようなことを重点的に進めていくことが必要と考えるか伺います。</p>
			<p>(3) 認知症と診断された後、なかなか適切な支援を受けられずに、その後の人生に悩み、苦しむ認知症の方や家族がまだまだ多いのが現状です。当事者や家族が孤立することがないように交流活動などの支援が行われているが本市の状況を伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
4	7番 湯浅 榮議員	1 身寄りのない人の死亡について	<p>人生100年時代と言われ始めてから久しくなりましたが、少子高齢化・核家族化・多死化により孤立死や孤独死といった問題が加速するものと考えられます。</p> <p>2020年10月の時点で、65歳以上の5人に1人は1人暮らし、全国で約670万人に上り、今後さらに増え30年ごろには800万人近くになると予想されています。</p> <p>一方、葬送や相続の制度、法律は昔のままで矛盾や摩擦が生じています。自治体職員は、遺骨や財産引き渡しのための親族探しや交渉に難渋し負担が大きくなっている。という報道がされているが、市としては、今後増えると予想される身寄りのない孤立死をどのようにとらえ、どのように対処していくのか伺う。</p>
		2 産後ケアについて	<p>政府は、今年6月30日付けで各自治体に通知したとされる出産後の育児相談などの「産後ケア」に関し、育児不安や心身に不調がある場合だけでなく、支援を必要とする人はだれでも受けられるようにして利用を促す、としています。</p> <p>この事業は、既に住民税非課税世帯については1回あたり5,000円で、回数制限なしで補助しており、これを継続するとしています。</p> <p>本市の産後ケア事業内容と利用状況を伺う。</p>
5	6番 伊藤 啓議員	1 平川地区の公共交通及び移動手段の確保について	(1) 平川地区の公共交通の現状と課題、その取組は。
			(2) 久留里線の存廃について、市としての意向は。
			(3) 平川地区に高速バスターミナルの整備を検討しないか。
			(4) チョイソコがうらの平川地区での実証運行を検討しないか。
			(5) 平川地区でのレンタサイクルの実証実験の進捗状況は。
6	18番 励波 久子議員	1 教育行政（ICT化と環境整備・学校給食）について	(1) GIGAスクール構想（ICT化）と環境整備
			① 児童生徒にタブレット端末を一人一台導入し、教育で学びの質を向上するにはどのような実践が必要と考えているか伺います。

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>② 今年の夏休みの宿題には、例年の紙のプリントやドリルと置き換わり、タブレットの宿題が出された学校がありました。教育委員会として、どのような方針を持っているのか。今後、他の小学校でも同様にタブレットに置き換えていくのか伺います。また、小学校の保護者からは、「回答を見て、その回答を覚えて入力していて勉強にならない」「タブレットで字を覚えるのか」等、タブレットの宿題に疑問の声が寄せられています。学習面でのタブレットの効果についてどのように考えているのか伺います。</p> <p>③ 家庭へのインターネット環境について調査は行ったが、現状すべての家庭で使える状況にあるのか伺います。</p> <p>(2) 放課後児童クラブのICT環境整備</p> <p>① 放課後児童クラブでのインターネット環境整備の実施状況について伺います。</p> <p>② 学校からは、タブレットで宿題を出されることを知らされておらず、放課後児童クラブでは夏休みに入ってから、急遽子ども達が学習時間にタブレットを使用できるように環境整備に追われることになりました。国のICT化推進事業補助金を活用し、導入費や維持運営費の補助金交付制度を作らないか伺います。</p> <p>(3) 学校給食の無償化</p> <p>① 現在千葉県の補助金を活用して第3子以降の給食費を無償としていますが、「義務教育は無償」とする憲法26条に則り、すべての子どもを対象に小中学校給食費を無償にしていけないか伺います。</p>
		2 マイナンバーカードと、健康保険について	<p>(1) 市民のマイナンバーカードの所有状況と非所有状況について伺います。</p> <p>(2) 健康保険証の廃止やマイナンバーカードの利用拡大を内容としたマイナンバー改悪法を強行され、来年秋に現行の保険証が廃止される予定となっています。いつでも、誰でも、平等に医療を受けることができる日本の医療保険制度の後退となりかねないと考えますが、市としての認識を伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		<p>3 かずさ水道広域連合企業団水道事業について</p>	<p>(3) 申請漏れなどにより、保険料を納めていても保険証が手元にない方が発生すると危惧されます。具体的な対応について伺います。</p> <p>(4) 保険証廃止の撤回を国に強く求めないか伺います。</p> <p>(1) 7月21日にかずさ水道広域連合企業団より、令和6年度から10年間の広域連合ビジョンと水道料金の値上げが示されました。物価高騰で、様々なものが値上がりして市民生活は大変です。助成補助金を大幅に増額しないか伺います。</p> <p>(2) 当初予定していなかった台風による漏水事故や物価上昇における費用の増加で予定していたよりも支出が増えているとの説明です。統合前から指摘してきましたが、今後も災害等起きることは当然予想されます。地下水源を廃止することは、問題であると考えます。地下水源を残すように、水源計画の見直しを市として提案していかないか伺います。</p> <p>(3) 県内でも、南房総地域、九十九里地域と統合広域化計画が進められようとしています。県内の末端給水事業体がすべて統合されることになれば、水道事業そのものを民営化するのではないかと危惧します。民間事業者が運営に深くかかわるコンセッション方式などへの移行はするべきではないと考えますが市長の考えを伺います。</p>
7	20番 笹生 猛議員	1 袖ヶ浦市「子ども議会」について	<p>令和5年7月4日に袖ヶ浦市「子ども議会」が開催された。 この取組は画期的であり、子どもの政治に対する関心を醸成する可能性を秘めていると考える。 袖ヶ浦市「子ども議会」の概要と今後の展望について伺う。</p>
8	2番 伊東 章良議員	<p>1 袖ヶ浦市の教育基本方針について</p> <p>2 子ども医療費助成制度について</p>	<p>人の基本を作る教育。世界の動向が変わっていく中で教育の重要度は増している。袖ヶ浦市における学校教育の基本姿勢について考えを伺う。</p> <p>8月から子ども医療費助成対象者が高校生まで拡大された。これまでの申請状況について伺う。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
9	23番 篠崎 典之議員	<p>1 公民館の市長部局移管方針等、本市の社会教育のあり方について</p> <p>2 公共交通の積極的な充実策の促進について</p>	<p>昨年末に提示された「まちづくり協議会の活動と公民館の利用増加」を掲げた公民館の市長部局移管方針は、利用者や関係者にとっても唐突であり、市民と社会教育活動のためとは考えられない。市は、「社会教育活動はこれまでどおり継続する」「公民館関連条例を残す」としているが、社会教育法が全面適用されなくなる。また、市長部局の判断で営利の色合いが強くなる指定管理者制度導入も可能な環境となる。以下の点を伺う。</p> <p>(1) 市長部局への移管方針は撤回して、これまでの社会教育法に基づく運営を継続すべきだが、なぜ社会教育法を全面適用しなくする市長部局移管を進めようとするのか。</p> <p>(2) 市長部局移管について、教育委員会の議論は、どう行われ、どのような意見内容か。</p> <p>(3) 自治会活動や地域活動を担う地域住民の高齢化が進むもとの、新たに「まちづくり協議会」を各地に設置推進することのだが、どのような「まちづくり」をめざすかのビジョンが見えてこない。「まちづくり協議会」を促進する真意・狙いは何か。</p> <p>(4) 全国的には、公民館の市長部局移管のうちに社会教育活動が形骸化し、公民館の「貸し館化」や指定管理者制度導入が進んでいる例も聞く。結局、市長部局移管は、「指定管理者制度」導入のためではないのか。</p> <p>(1) 久留里線は、廃線やバス輸送への切り換えではなく、沿線のまちづくりを促進する中で存続発展させる方針で対処し、本市も検討協議会の構成市となって取り組むべきだが、市の考えは。</p> <p>(2) ガウランドバスについてガウランド未利用者も同乗するための利用環境整備をどうする考えか伺う。</p> <p>(3) 「チョイソコがうら」は、長浦地区での進捗に関わらず全市的に試行運転を開始すべきと考えるが今後の方策を伺う。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		3 天然ガスによる火力発電所建設計画への対応について	(1) 過日実施された住民説明会での説明では、海水等による水冷ではなく、大気に熱を放出する空冷方式を採用するとのことだった。195万キロワットというかなり大規模な火力発電所計画で相当の熱量が年間を通して排出されることになり、二酸化炭素と併せて地球温暖化への悪影響が強く懸念される。このような計画は認めず、再生可能エネルギーの推進を促すべきと考えるが市の考えはどうか。
10	22番 塚本 幸子議員	1 水道料金の値上げが予定されているが、どのように対応するのか	<p>かずさ水道広域連合企業団は、千葉県営水道並びに木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市に供給する水道用水供給事業と、供給された水道用水等を各家庭や事業者などに配水する水道事業を行っていて、本市も経営に参画しています。その企業団は、平成31年の事業統合時の水道料金を維持することが困難であるとし、令和11年度の料金統一を目標とし、令和6年4月から水道料金を引き上げる計画があります。そこで水道料金改定に至る経緯と必要性・本市の対応について以下の点について伺います。</p> <p>(1) 君津地域水道事業統合広域化基本計画での考え方について</p> <p>(2) 料金改定の必要性と検討経緯について</p> <p>(3) 市民負担を軽減するための措置など、具体的な対応は、どのように考えているのか。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		2 指定ゴミ袋の値上げとプラスチックごみの分別回収、ゴミ減量化について	<p>廃プラスチック有効利用率の低さ、気候変動や海洋プラスチック等による環境汚染が世界的課題になっています。令和4年4月から「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。プラスチック資源循環の促進を図ることが目的で、プラスチックごみの分別回収が自治体の努力義務となります。</p> <p>一方、本市では、ごみ総排出量目標値は1人1日当たり850gとなっていますが、令和3年度の実績値は915gであり、目標を達成できておりません。このような状況の中、以前に、ごみ総排出量を減らすべく、プラスチックごみの分別回収について質問した際には、指定ゴミ袋料金見直し後に検討するとの回答でした。</p> <p>そこで、ゴミ指定袋の料金見直しについて、どのようになっているのか。また、その際にプラスチックごみの分別回収についてもどのように考えているのか。さらに、そのことによるゴミの減量化について、どのように見通しているのか、市長の考えを伺います。</p>
		3 安心して産み子育てができるように、産婦人科医院等の誘致と女性施策の推進、子育て環境のさらなる前進を図らないか	<p>本市は、これまでのまちづくりや子育て環境などが評価され、多くの子育て世帯が転入してきています。しかしながら、市内から産婦人科医院・病院が無くなってから6年が経過し、折角本市を気に入って引っ越してきたのがっかりしたという声もあります。また、こども館も設置後10年経過し、施設や運営方法の改善も必要で、さらに、私立保育園の中には、園庭などが市立と比較し狭いなど環境が見劣りするところもあります。</p> <p>(1) 安心して産み子育てができるよう、また、妊産婦に限らず本市の女性の健康を守るために、産婦人科医院・病院の誘致、並びに女性の保健施策・健康を守る取組について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) さらに、本市の子育て環境をさらに前進させるために総合的な見直しをしていかないか、市長の考えを伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
11	5番 稲毛 茂徳議員	1 市長就任後、令和元年の台風15号被害からの復興、その後の新型コロナウイルスへの対応を踏まえた、市政運営と今後について	<p>(1) 令和元年台風15号被害からの復興、新型コロナウイルスへの対応について、日々刻々と変化する状況下で最善策を打つべき判断に苦慮されてきたと感じている。台風から4年が経過する点や新型コロナも収束には至っていないものの5類相当へ移行したことから、市長としての総括的な所感を伺う。</p> <p>(2) 「住みたいに相應るまちへ」「便利なまちへ」「育てるまちへ」「安全なまちへ」の4つの柱を掲げて、市政に取り組んで来たを受け止めているが、4年間を振り返って、着手し実行出来ていることや実現に向けて進めていること、未だ着手に至っていないことなど、市長としてどのように評価・判断しているのか伺う。</p>